

World Picks! Terminal 2 Thursday Edition

「A sense of the World」大連編(第2回)

放送日時:2月14日(木曜日) 12:25頃～

Guest : 田麗 (TIAN LI) 様

私、藤田じゅんと Rosemarie がお送りしています、LOVE FM 「Departure Lounge」。
ここからのお時間は、World Picks! Terminal 2 Thursday Edition 「A sense of the World」。
このコーナーでは、“人”を通して“世界”を知る！をテーマに毎月1つの国や地域にフォーカス！
今月フォーカスするのは、大連 HOTLINE でもおなじみ、中華人民共和国遼寧省にある都市、『大連』。
本日は中国遼寧省ご出身、田麗 (TIAN LI) さんにスタジオにお越しいただきました！

【Q1】自己紹介

皆様こんにちは、中国遼寧省の大連市出身、田麗と申します。どうぞよろしくお願い致します。

13年前に日本に来てから日本語学校、大学を卒業して国際物流会社ジェネックに務めるまで、学校の先生、会社の同僚、上司の方々から日本語、日本の文化、コミュニケーションなど学ばせていただいて、大変お世話になっております。改めて、本日はよろしくお願い致します。

【Q2】ではまずは大連の街の魅力についてお話お伺いできますか？

大連の人は日本人にとっても優しく、しかも日本語を話せる方が多いです。海沿いのエンターテイメントがとても多く、「星海（せいかい）広場」という海に隣接した総面積110万平方メートルの大きな広場があり、中に大きな芝生の緑地を有し、音楽が流れる大規模な噴水があって、帰国のたびに遊びに行きます。また、海の恵みで海鮮グルメがおいしく、新鮮なウニをさばいてスプーンで取り出して食べたりします。ぜひ皆さんにも食べていただきたいです。

【Q3】そして現在は北九州でお勤め、ということですが、福岡で働くことになったのはどんなきっかけからでしょうか。

大連市と北九州市は姉妹都市であり、距離も近く飛行機 1 時間半くらいなので帰国もしやすいことです。

一番理由は日本人の言葉遣いです。初めて日本に一人暮らしして、毎日学校とバイト先を通い途中の交差点に安全パトロールの方、学校の先生方たちが立っていて、かけられた挨拶の言葉で疲れや寂しさを解消して、元気になりました。日本人って優しいなあ、これからも、こんな環境の中での生活したいと思ったのがきっかけです。

【Q4】外国の企業で働く、というのは色々苦勞もあると思うのですが、田さんが感じる中国の企業と日本の企業の違いや、またここが楽しい！と思う部分などお聞かせください。

一番苦勞したのは日本語です。仕事にもらったメールの意味や言いたいことが伝わらない時に会社の隣の同僚に助けていただきました。日本の会社に勤めてから、一番学べたのは、チームワーク力の大切さです。ホウレンソウ、情報共有、担当の業務が違ってても互いに教えあえて、仕事がしやすくなりました。

【Q5】それでは最後に、日本で（福岡で）就職を考えている中国人の方、留学生のみなさんにメッセージをお願いします！

日本語：中国人としてのアイデンティティを忘れずに、日本語とコミュニケーション能力を高めながら自分の夢を実現させてください。

中国語：作为一个在国外的中国人，加强自己的日语和沟通能力，为实现梦想而努力。

World Picks! Terminal 2 Thursday Edition 「A sense of the World」。

このお時間は中国遼寧省ご出身、田麗（TIAN LI）さんをスタジオにお迎えしました。ありがとうございました！